

Q&A その後どなった?

そういえばあの答弁
どうなったのかな

ジェネリック医薬品の推進を

問 患者さんの自己負担(窓口負担)を減らし、国保会計の財政健全化のためにも、ジェネリック医薬品の周知と使用促進の呼びかけをお願いしたい。

答 欧米に比べて、普及が遅れている。厚労省、県、他市町の動向を把握して、今後検討していく。
(平成20年9月)

問 「ジェネリックお願いカード」、または「ジェネリック希望カード」の発行をして推進を。

答 平成22年度中の発行に向けて、前向きに検討する。
(平成21年12月)



■平成22年度：カードを住民課窓口と富貴支所に配置



■平成26年度：ジェネリック医薬品差額通知はがきを発行

試験場周辺道路に歩道設置を

通学路の安全対策を

通学路となっている町道・県道などで歩道が設置されていない箇所が残っており、児童・生徒をはじめ住民の安全対策として、歩道設置の促進について、たびたび議論されてきた。

武豊港線(みゆき通り)は駅東土地区画整理事業の中で歩道設置を含めて整備される計画が進められているが、それに先立って旧野菜茶業試験場周辺の武豊港線が拡幅され、合わせて歩道が整備された。

